

6/3 まちの交通安全を支える個人・団体を表彰



与那原町交通安全推進協議会による「第75回定期総会」が上の森かなちホールで開催されました。総会では表彰式が執り行われ、与那原署管内で交通安全活動に尽力した10個人6団体が与那原警察署長・与那原地区交通安全協会長連盟表彰を受賞しました。

同署の管轄は与那原町、南風原町、南城市で、与那原町からは2個人、6団体が表彰されました。受賞者は以下の通りです。

- ◇交通安全功労者
小松苗子(与那原町浜田区交通ボランティア)
- ◇優良自動車運転者
仲村和久(株式会社馬天自動車学校)
- ◇交通安全優良団体
新島区・森下区・大見武区・浜田区・与那原区・上与那原区

受賞された皆さま、日頃からのご尽力に感謝いたします。また、今号で表紙となった東浜自治会は、交通事故防止活動などに尽力した団体として昨年に九州管区警察局長・九州交通安全協会長連盟表彰を受賞しております。

7月11日～20日は夏の交通安全県民運動の期間です。これからも地域一丸となって、安心・安全なまちづくりに取り組んでいきましょう。



与那原町民平和の日記念事業 過去を振り返り、平和をつなぐ



与那原町では、沖縄戦の記憶を継承し、恒久平和を願うため、5月21日を「与那原町民平和の日」と定め、毎年この日を中心に平和記念事業を実施しています。

5月10日には、沖縄戦研究者の津多則光さんを講師に迎え、「戦跡めぐり(平和学習会)」を開催しました。津多さんは、米軍が撮影した航空写真や当時の教科書などの資料を用いながら、戦前から戦後にかけての与那原の様子を解説。参加者は、町内で起きた戦争の悲惨さやその教訓への理解を深めました。

5/31 大綱曳の成功祈る アブシバレー

与那原大綱曳実行委員会が5月31日、アブシバレーを行いました。アブシバレーは田畑の害虫を払い、五穀豊穡を祈願する伝統行事で、現在は町民の健康や地域の繁栄、与那原大綱曳の成功を願い、毎年旧暦4月15日に行われています。

当日は、実行委員会のメンバーが集まり、事前に作った小舟に虫を乗せて大綱曳倉庫を出発。台風6号の影響による風雨のなか、上之殿、東名大主、竿之増、阿知利世主、御殿山、親川を回って祈願しました。板良敷海岸で予定していた小舟を流す儀式は高波のため延期となり、6月4日に行われました。舟づくりから当日まで、先人から受け継がれてきた伝統を守り、次世代へつなごうとする関係者の思いが感じられました。



5月21日には、上の森かなちホールで「与那原町民平和の日記念式典」を開催。今年も多く多くの町民が参列しました。黙とうの後、照屋町長が平和への誓いを述べ、沖縄戦のデジタル紙芝居を上映しました。

続いて、町ジュニアリーダークラブの中高生が、平和学習で学んだことや感じたことをまとめた平和メッセージを朗読。「小さな喜びに気づき、感謝し、互いに認め合うことを大切にしなければならぬ」「とても賢沢な『平和な今』をずっと守っていききたい」と、平和への思いを力強く語りました。

最後は、与那原うんたま森合唱団が「月桃の花」を歌う中、参列者全員で菊の花を献花し、戦没者を悼むとともに世界の恒久平和を祈念しました。



平和学習「戦跡めぐり」。雨天のため、座学での開催となりました。津多則光さん

